



4月の学級づくり【中学校版】

人は、人とのかかわりの中で、人との関係性の中で、自尊感情や自己有用感を高めていきます。しっとりとした学級、間違えることが許される雰囲気のある集団が、生徒の育ちを支えます。

万物が躍動する4月、新たなステージの始まり。笑顔集まる学級づくりに真心こめて取り組みましょう。

お互いのことを知ろう！

4月当初に生徒、担任、保護者がお互いを知り、理解する場を意図的に設定することで関係性が深まります。

1 学級活動で・・・

「パースデーライン」「フルーツバスケット」「さいころトーク」などを通して、自己紹介の場を設定しては？翌日学校に来たとき、「おはよう！」と言える間柄の友だちができた！という状況を作ります。

2 プロフィールの掲示

個人目標だけではなく、「得意なこと」「好きな有名人」「嫌いな食べ物」...なども併せて掲示しては？休み時間の話題が盛り上がり、友だちの輪を広げます。

3 学級PTAで・・・

第1回学級PTAでは、「先生とビンゴ」で担任の自己紹介をしたり、保護者同士の簡単なエンカウンターを導入したりします。担任・保護者同士の関係づくりを促進することも、学級づくりの大きな力になります。

生徒の言葉を聞く

「人の話を取らない」「人の話の腰を折らない」と、生徒に、友だちの話の聞き方を指導することがあります。教師も同じです。生徒が話しかけてきたら仕事から手を離し、話しかけてきた生徒に体を向けます。生徒の中には、伝えたいことを要点的に話せる生徒もいますが、なかなか本題に入れない生徒、ゆっくりと話す生徒もいます。どんなに忙しいときでも、目を合わせたり頷いたりするなど話しやすい雰囲気づくりに心がけ、最後まで聞くことから始めましょう。

「先生は私の言うことをきちんと聞いてくれる。」このことが、この生徒との関係づくりの第一歩です。こうした教師の姿勢は、生徒に指導をしたことの具体を示すことになり、友だち同士の発言を大切にしている学級集団が育つことにもつながります。(学習指導手引書「特別活動編」から)

誰もが楽しく美味しく食べる給食指導

給食指導は、集団の一員として自らの役割を果たそうとする意欲や態度、協力・感謝をはぐくむ上で大変重要です。

1 皆で理解！ 給食当番の配膳システム

自校のシステムを理解し合う(清潔安全・効率・協力)給食当番の交代条件を全員で共有(やり直し基準の確認)

2 皆で協力！ 短時間での配膳方法

給食委員が、給食当番チェック表に記録し、現状把握。よさは大いに認め、課題は5の学級会で解決。工夫改善。

3 皆で創る！ 楽しく食べる雰囲気

昼の放送は大事に聴く。その後は楽しく歓談しながら。明るい雰囲気作りを心がける。班の生徒の表情から班のまとまりを把握。気になる生徒へは個別のフォロー。

4 担任は静観！ 給食後の教室の様子と後始末

「ごちそうさまでした」の後の教室の様子に、今のクラスの様子が表れる。生徒と談笑しながら様子を見る。

5 自分たちで解決！ うまいかないことは、学級会で話し合っ解決...自力解決を経験する場へ

学級づくりはまず学級目標づくりから

学級目標は生徒の願いの詰まったものにしましょう。(ある程度時間をかけましょう)一例を紹介します。

1 担任・副担任の思いを語る

先生の大切にしていること、大切にしたいことや願いを語る。説教にならないように注意！

2 すべての生徒の思いを徐々に集約する

学級への願いを紙に書く。1人がいくつも書くようにしたい。大切なのは自由さ。書いたことは全て認められ他からは攻撃されないこと。(付箋を使うとよい)

書かれたものの共通点や相違点を考えながら、グループ化し、そのグループをまとめる言葉を考える。紙を使う場合は封筒に入れて封筒にまとめる言葉を書く。付箋の場合は画用紙などにグループ別にはってまとめる。

3 みんなで一つの目標を決める。

の方法を繰り返し、3つほどの言葉(願い)に集約する。この3つの言葉を、一文にして学級目標にする。すべての生徒が参加して作った目標である。